

第6学年国語科学習指導案

単元名 豊かな日本語の使い手になろう

教材名 「雨のいろいろ」倉持 保男 (東京書籍 小学校6年下)

「数え方でみがく日本語」飯田 朝子 (東京書籍 小学校6年下)

1 単元について

(1) 児童観

児童は、今年度「新聞の投書を読み比べよう」の学習において、4つの新聞投書を読み比べ、それぞれの読み手を説得するための根拠の挙げ方を読み取る学習を行っている。また、「未来に生かす自然のエネルギー」の学習では、筆者の資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら教材文を読み取り、持続可能な社会づくりを呼びかけるリーフレットを作成する学習を行っている。しかし、筆者が論を進める上で用いている様々な叙述の工夫を読み取るまでには至っていない。そこで、そのような叙述の工夫を用いて意見を述べている文章を、その効果について考えながら読み取る学習に取り組みさせる必要があると考える。意見文を書く活動に関しては、今年度『わたしの意見』を書こう」という「書くこと」領域の学習で経験している。

(2) 教材観

小学6年生は、3学期になると小学校卒業を間近に控え、様々な場面でこれまでの小学校生活を振り返る機会に直面する。本単元では、小学校での国語の学習を振り返り、その総まとめとして自分と日本語との関わりについて考えさせたい。

教材として、日本語に関して意見を述べた2つの説明的な文章を取り扱う。「雨のいろいろ」は、雨の様々な呼び方に着目し、日本人の生活と雨の関係について述べている。「数え方でみがく日本語」は、ものの数え方に着目し、日本語が本来持っている力を発揮させるべきであるという意見を述べている。2つの文章の共通点は、児童にとって身近な具体例を数多く挙げながら、日本語の特徴やよさを述べていることである。相違点は、「雨のいろいろ」が客観的な事実を基に考察した結果を簡潔にまとめて結んでいるのに対して、「数え方でみがく日本語」は、問いかけや語りかけの表現、比喩表現を用いながら、読み手に対しての提案まで含まれた強い主張を行っている点である。この2つの文章は、それらの共通点や相違点に着目しながら文章構成や要旨を読み取らせ、日本語の特徴や使い方についての考えをもたせるのに適した教材であると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、日本語の特徴や使い方についての考えを意見文にまとめるために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する(「C読むこと」(2)イ)活動を言語活動として設定する。

第1次では、これまでの国語の学習を振り返って日本語についての意見文を書き、卒業文集に掲載することを提示し、学習の見通しをもたせる。また、意見文を書くために、筆者が用いている叙述の工夫(「説明の技」)に着目しながら要旨を捉え、日本語の特徴や使い方について考えを深めるという学習の流れを把握させることで、児童に読みの必然性をもたせたい。

第2次では、筆者がどのような主張を行っているのか、また、その主張を行うためにどのような「説明の技」を用いているのかについて、2つの文章を比べながら読み取らせる。「説明の技」については、「具体例をたくさん挙げる」「物事に対する見方を変えて、新しい見方を示す」「問いかけや語りかけの表現を使う」「比喩表現を使う」ということについて読み取らせていきたい。

第3次では、日本語の特徴や使い方についてのテーマを考えて、意見文にまとめさせる。その際、教材文で読み取ったことを生かすために、「説明の技」を活用しながら自分の意見を述べさせるようにする。

第4次では、それぞれの意見文を読み合い、感想を交流させる。2つの文章から読み取った「説明の技」が意見文にどのように生かされたのかについて振り返らせ、これから生活していく上で日本語とどのように関わっていくのかについて考えさせたい。意見文は、卒業文集に掲載する。そうすることで、児童が学習の成果を小学校での国語の学習の総まとめとして実感できるようにしたい。

2 単元の目標

日本語の特徴や使い方についての考えを意見文にまとめることを通して、筆者が論を進める上で用いている叙述の工夫(「説明の技」)に着目しながら要旨を捉えることができる。

3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 日本語に関心をもって読み、日本語の特徴や使い方について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「説明の技」に着目しながら要旨を捉えている。 【C読むこと(1)ウ】 日本語の特徴や使い方についての考えを意見文にまとめ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【C読むこと(1)オ】 日本語の特徴や使い方についての自分の考えをまとめるために、必要な本を選んで読んでいる。 【C読むこと(1)カ】 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的な文章における文章全体の構成を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(キ)】

4 指導と評価の計画(全9時間)

次	単元	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準とその方法
事前	外	○ 関連図書を読むことで、日本語に関心をもつ。	○ 事前に日本語の特徴や使い方について書かれている本を教室に並べておき、いつでも児童が手にして読めるようにしておく。	
一	1	○ 小学校での国語の学習を振り返る。	・教科書96ページの図を基に話し合わせることで、これまでの国語の学習に関心をもたせる。	【関】日本語について関心を持ち、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 〔ワークシートの記述と発言内容〕

		<p>○ 2つの文章を通読して初発の感想を書く。</p> <p>○ 学習の流れを確かめる。</p>	<p>・「雨のいろいろ」と「数え方でみがく日本語」を読んで感じたことや気付いたことなどをワークシートに書かせる。</p> <p>・ワークシートを基にして、日本語についての意見文を書くために、教材文に用いられている「説明の技」を読み取るという学習の見通しをもたせる。</p>	
二	2	<p>○ 2つの文章の文章構成や筆者の主張を考えながら、要旨を読み取る。</p>	<p>・ワークシートの文章構成表を基に、2つの文章を序論、本論、結論に分けさせる。</p> <p>・2つの文章の筆者の主張についてワークシートの表にまとめさせる。</p>	<p>【読む】 2つの文章の要旨を読み取っている。 〔ワークシートの記述内容〕</p> <p>【言イ(キ)】 文章全体の構成を理解している。 〔ワークシートの記述内容〕</p>
	3	<p>○ 2つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取る。</p>	<p>・具体例に着目させ、たくさん具体例を挙げながら考えを述べるという説明の仕方が共通していることを読み取らせる。</p> <p>・接続語に着目させ、物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方が共通していることを読み取らせる。</p>	<p>【読む】 2つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取っている。 〔ワークシートの記述内容〕</p>
	4	<p>○ 「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取る。</p> <p>○ 2つの文章から読み取った「説明の技」をまとめる。</p>	<p>・「数え方でみがく日本語」では、問いかけや語りかけの表現が多用されていることを読み取らせる。</p> <p>・「数え方でみがく日本語」では、「数え方の箱」「言葉の筋力」という比喩表現が用いられていることを読み取らせる。</p> <p>・「説明の技」についてワークシートの表に整理して書かせる。</p>	<p>【読む】 「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取っている。 〔ワークシートの記述内容〕</p>

三	5 6	○ 意見文のテーマを決定し，原稿メモを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書97ページ「文章の題の例」を参考に，これまでの国語の教科書や日本語に関して書かれた本から情報を集め，意見文のテーマを決定させる。 序論，本論，結論の文章構成で，自分の考えをワークシートの原稿メモに整理してまとめさせる。 	<p>【読カ】これまでの国語の教科書や日本語に関して書かれた本の中から，自分の考えにふさわしいものを選んで読んでいる。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p> <p>【言イ(キ)】文章全体の構成を理解している。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p>
	7 8	○ 2つの文章に用いられていた「説明の技」を使いながら，日本語の特徴や使い方についての考えを意見文にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 2つの文章から読み取った「説明の技」を振り返らせ，それらを活用させながら意見文を書かせる。 	<p>【読オ】日本語の特徴や使い方についての自分の考えを意見文にまとめている。</p> <p>[意見文の記述内容]</p>
四	9	○ 意見文を読み合い，感想を交流する。 ○ 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> グループで意見文を読み合わせ，ワークシートに感想を書かせる。 グループの代表者に意見文を発表させ，全体で感想を交流させる。 これから生活していく上で日本語とどのように関わっていくのかについて考えさせる。 	<p>【関】友達の意見文についての感想を述べ，日本語との関わり方について考えようとしている。</p> <p>[ワークシートの記述と発言内容]</p> <p>【読オ】これからの日本語との関わり方についての考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[ワークシートの記述内容によって評価する]</p>

5 本時の指導(3/9)

(1) 目標

2つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取ることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時のめあてを確認する。	○ 学習計画表を基に，前時までの学習を振り返らせ，本時は2つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取るという見通しをもたせる。
	2つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取ろう
2 2つの文章に挙げられている具体例を読み取る。	○ 【それぞれの教材文の具体例】 (別紙参照)の「具体例をまとめた言葉」を教師が示し，教材文に青い線を引かせる。

3 物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方を読み取る。

4 2つの文章のどちらにも使われている「説明の技」をまとめる。

どちらにも使われている「説明の技」
・たくさんの具体例を挙げながら説明している。
・物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方をしている。

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ それぞれの「具体例をまとめた言葉」に対応する具体例に赤い線を引かせることで、どちらの文章にも具体例が数多く示されていることに気付かせる。

○ 接続語に着目しながら「数え方でみがく日本語」の序論を読ませ、物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方が用いられていることに気付かせる。

○ 「雨のいろいろ」で同じような論の進め方が用いられている部分を見付けさせる。

「雨のいろいろ」で同じような論の進め方が用いられている部分
・雨は、地球上のどこで降っても…呼んできました。(98ページ3行目から)
・世界の多くの国々では…多いのでしょうか。(100ページ3行目から)
・都会で生活する人にとっては…大切な雨です。(100ページ10行目から)

○ 「説明の技」についてワークシートの表に整理して書かせる。

評価【読む】
2つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取っている。
[ワークシートの記述内容]

○ 次時は、「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取っていくことを知らせる。

【それぞれの教材文の具体例】

	具体例をまとめた言葉や文	具体例
雨のいろいろ	昔から雨をいろいろな名前ですんできました (P98-L4)	<ul style="list-style-type: none"> ・春雨 ・梅雨 ・五月雨, ・夕立 ・時雨 ・みぞれ, ・きりさめ ・こぬか雨, ・にわか雨 ・通り雨
	雨が降る様子を表す言葉 (P100-L1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ぽつぽつ ・ぱらぱら, ・しとしと ・ざあざあ
	雨の降り方によって, 人々は季節の移り変わりを感じてきた (P100-L6)	<ul style="list-style-type: none"> ・「春雨」に厳しい冬から解放された喜びを感じた ・北国などでは, 冷たい「時雨」に冬が間近にせまっていることを知り, 寒さや雪に対する備えを始めた
	農耕作業にいろいろな影響をあたえています。 (P100-L10)	<ul style="list-style-type: none"> ・(都会で生活する人にとってははじめじめしているだけでうっとうしい「梅雨」も,)水田で稲作をする農家の人にとっては, 稲を生育させるために欠かせない大切な雨 ・梅雨の後半から秋にかけての台風シーズンには, 集中豪雨に見まわれることも少なくありません。田や畑を水害から守ることに絶えず気を配っていなければなりません
数え方がみがかく日本語	ものを数える機会 (P102-L3)	<ul style="list-style-type: none"> ・家で飼っているペットの数 ・今日食べたクッキーの数 ・筆箱の中のえんぴつの数 ・夏休みに読んだ本の数 ・「今日の1時間目の社会では, プリントが2枚配られたな。」 ・「とうふ1丁と, うどん3玉を買う。」 ・「米2合に水3カップでたく。」
	「つ」「個」でいろいろなものを数えてみる (P103-L6)	<ul style="list-style-type: none"> ・「うちには1つの犬と二個のねこがいます。」 ・「昨日, 3つの友達といっしょに遊びました。」 ・「新しいノートを4個買いました。」
	それがどんなものであるのか, 話し手はそれをどうとらえているのかという情報 (P104-L2)	<ul style="list-style-type: none"> ・「匹」なら小さい動物 ・「人」なら人間 ・「冊」なら本や雑誌, ノート
	数えられるものがどんなものなのかという情報 (P104-L8)	<ul style="list-style-type: none"> ・動物なのか人間なのか ・大きいのか小さいのか
	身近な数え方の疑問 (P106-L8)	<ul style="list-style-type: none"> ・どれだけ大きな動物になれば「1頭」と数えられるのか ・「一軒」と「1戸」は同じなのか ・500円玉は「1個」なのか「1枚」なのか